

# 八女福島に視察に行ってきました！

12月15日、NPOのオヤジ5人衆で、八女市の中心に位置する福島地区のまちづくりの視察に行ってきました。明治、大正、昭和初期に建てられた町家・長屋の保存・再生、利活用が進められており、地産地消レストランや町家ホテルなど、新しくお洒落なお店がたくさん出店しており、首都圏からの若者の移住者も増えているとのこと。

町並みの視察については、現地の案内人をお願いするのではなく、原理事が自ら企画・提案し、案内役を務めました。これだけ多くの歴史的な価値のある町家を改修していくには、地元の熱意や様々な団体の協力、資金力がないと困難であると感じました。



原添乗員による町並み案内

私たちの高瀬を考えると、八女福島のような町並みを形成する町家造りは少なくなってきましたが、歴史的資源は豊富にあるので、もっと有効活用を図ることが重要と感じました。

市外から若者に来てもらうためにも、まちの魅力を発信していくことが大事ですね！  
また今年も企画したいと考えております。



御茶屋跡を改修したNIPPONIAホテル



八女福島の町並み

## 1階テナント入居者を募集しています！

高瀬蔵1Fテナントの入居者を募集しています。会員の皆さまのお知り合いの方で出店してみたい事業者の方がおられましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

### NPO 法人 高瀬蔵

熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)  
TEL・FAX 0968-72-2480  
E-MAIL info@takasegura.jp  
URL http://takasegura.jp  
開館時間 10:00~22:00(イベント開始時間により変更あり)



◆◆◆ 開館20周年 ◆◆◆



アート in 高瀬 芸術祭「崇城のリッタイ」

親しみ楽しんで頂ける蔵を目指して



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

高瀬蔵の運営につきましては、日頃よりご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

高瀬蔵は一昨年、管理運営の一元化の実施により玉名商工会議所からすべての業務を引き継ぎ、一年目の歩みを始めました。年間の事業については、これまでの経験を活かしお客様に楽しみ、親しんでいただける催しを開催いたしました。管理業務に関する多くの事務及び契約事項の変更などについては、不慣れなことばかりで何とか軌道に乗るまでには時間がかかりましたが、同所からのご指導や関係者のご協力によって歩き始めることができました。このことは、NPO法人高瀬蔵が平成十七年の開館から今年で二十年を数え、まさに成人として独り立ちしたともいえる大きな節目を迎える年になったと、思いを新たにするとともにあります。

これまでの高瀬蔵の歩みに加え新たな事業を掘り起こし、さらに多くのお客様を迎えられる工夫や、貸しホールとしての利用推進を図るため、内容の確認や広報の方法など、多岐にわたり協議検討して高瀬蔵の運営に携わっていきたく思います。

また、今後の運営につきましては一階テナントの入居者確保、コロナ禍より減少したホールの利用促進、会員及び運営にかかわるスタッフの確保など順調とはいかないこともあるかと存じますが、皆様のご支援・ご協力をいただきながら、新たな心構えの中でより一層、親しみ楽しんで頂くことができる「高瀬蔵」を目指してまいります。

つきましては、本年もこれまでと変わりになく高瀬蔵を見守り応援していただきますようお願いし、皆さまにとって健康で実り多き一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長 猿渡 公予

# アートin高瀬 芸術祭「崇城のリッタイ」



昨年は崇城大学芸術学部・日本画コースの学生さんの展覧会を行いました。今年も3Dアートコースの皆さんのご協力で開催しました。展示作品は従来の彫刻作品の他、パソコンで作成し3Dプリンターで出力した作品や動画など現代的なアート作品も並び、お子様連れでも楽しめる雰囲気的空間になりました。

アニメ風キャラクターの絵についてはスマホでQRコードを読み込むと、そのキャラクターがスマホ画面では立体として表示され、360度回転や拡大縮小も自由自在。まさに現代的なアートの楽しみ方だと思いました。3Dアートコースご協力の展覧会は初めてでしたが、来年度以降も充実した展覧会にしていこうと思います。



## 高瀬界隈巷間新第29話

# 菊池川堤防のハゼ並木～保護と活用の記録～



11月15日夜、玉名市立歴史博物館こころピアの元館長 竹田宏司さんによるお話で開催しました。

江戸時代、櫛蠟をとるため九州を中心に各藩でハゼの木が植栽されました。熊本藩での本格的な植栽のはじまりは享保9年(1724年)頃といわれ、菊池川堤防のハゼもこの頃から植栽が開始されたものと考えられています。玉名市繁根木から小浜まで約3.2kmの範囲に237本のハゼの木は、「菊池川堤防のハゼ並木」として平成19年に国内初の国登録記念物になりました。



長年保全活動を行っている玉名町校区まちづくり委員会と行政によるこれまでの保護と活用の記録を振り返り、また会場の皆さんで意見交換を行いました。以前は左岸にもハゼ並木があったがいつの間にか伐採されたとの話も聞くことができました。



ハゼ並木は玉名市民にはあまり知られていないようで、まずはその存在を知ってもらいたい。玉名町校区まちづくり委員会等が主催する「ハゼ並木清掃・保全活動」についても周知がありました。今年には本格的な植栽から300年の記念すべき年でもあります。様々な活動とおして、より多くの方にハゼ並木について知ってもらえる機会になればと思います。